

1976年4月**株式会社 西原衛生工業所大阪店 入社**

給排水・衛生・消火・ガス設備工事の現場実施設計及び施工管理業務に従事する。
特に、「芦屋浜高層住宅街建設工事」においては、全52棟の建物内各種配管について施工図面の作成と現場施工管理を3年間担当し、TN工法(ハウジング形管継手を用いた柔構造プレハブ配管工法)による現場作業の省力化と施工品質の均一化を実現する。
また、全棟を結ぶタンクレス給水管(地中埋設管:150A~400A)の敷設工事に際しては、実施設計から現地測量・現場施工管理までを一貫して担当する。

1980年7月**ヤンマーエンジニアリング株式会社 へ転職**

主として民需大型物件・官需(上下水道関係)物件の内燃力発電設備(非常用・常用)、Co-Gen設備工事の実実施設計と積算、及び諸官庁申請・現場施工管理・現地試運転調整・引渡し業務を行う。
1994年からは当該担当セクションの課長として、販売予算等の立案・販売実績管理・人事管理を行う。

特に、1981年から1983年は、【昭和基地・新発電棟(ディーゼル発電装置:160kW×3台)の建設計画】に主担当者として参画し、レイアウト設計・機器基礎設計・配管設計を担当する。
設計に際しては、メーカー側の機器設計者と連携をとり、機器のユニット化・各種配管のオールプレハブ化を実現し、昭和基地での特殊な作業条件(短い工事期間・素人隊員による施工等)に配慮したコ・ジェネレーション(熱電併給型発電)システムを構築する。

<1983年07月~1984年04月>

国立極地研究所へ外向し、第25次南極地域観測隊・夏隊に参加。

■新発電棟コ・ジェネレーション設備の建設

■セールロンダーネ地域、第3の基地(あすか基地)建設のための予察

<1985年07月~1987年03月>

国立極地研究所へ外向し、第27次南極地域観測隊・越冬隊に参加。

■機械担当として、基地設備、車両等の維持管理業務

■荒金ダム温水循環回路の新設による生活水源の通年確保

■航空機アイスレーダー観測の地上支援隊として、雪上車で約3ヶ月間の内陸調査旅行を実施。

(昭和基地→みずほ基地→やまと山脈→ベルジカ山脈→あすか基地 約1,000km)

<1990年06月~1992年03月>

国立極地研究所へ外向し、第32次南極地域観測隊・越冬隊に参加。

■設営主任(機械部門チーフ兼務)として、越冬隊長の補佐業務

■機械部門を統括して、基地設備、車両等の維持管理業務

1995年4月

昭和基地の発電装置更新に伴う「熱電併給型240kW常用発電装置据付工事」および「Co-Gen設備工事」について、主担当として実施設計業務を行う。

また、基地主要部を結ぶ温水管・給水管用として、硬質ポリウレタンフォームを用いた保温材付プレハブ加工管の開発に取り組み、柔構造プレハブ配管システムを実現する。

1995年8月

RSTトレーナー講座(*)及び安全衛生責任者教育講師養成講座を修了後、従業員や協力会社作業員に対する労働安全衛生教育講師として、「職長教育」(安衛則第40条で定められた12時間以上の現場監督者教育)及び「危険予知活動」推進のための様々な「危険予知トレーニング研修」を10年間にわたって担当する。

1998年には、日本南極地域観測隊の安全対策の一つとして「危険予知活動」を提唱し、自らが参加した第40次隊に対して、建築担当隊員の協力を得て、初年度の取り組みを実践した。

以降、41・43・44・45・48・49次隊に対して「危険予知トレーニング研修」講師を担当する。

(*)労働安全衛生法第60条に基づく、職長等現場監督者に対する安全衛生教育を担当するトレーナー育成の講座。

1996年10月

ISO9000シリーズ認証取得に向けて、担当セクション代表としてISO事務局に参画し、品質マニュアルの作成・各種規格／規程類の整備・従業員への啓蒙と教育・内部監査・審査機関との折衝及び審査対応を担当する。
1997年07月に、ISO9002:1994認証を取得。

<1998年07月～1999年03月>

国立極地研究所へ出向し、第40次南極地域観測隊・夏隊に参加。

■2号発電装置(240kW)更新、及びコ・ジェネ付帯設備工事

■観測隊の安全対策として「危険予知活動」を提唱し、初年度の取り組みを実践。

<1999年07月～2000年03月>

国立極地研究所へ出向し、第41次南極地域観測隊・夏隊に参加。

■安全対策主任

■給水主管新設による給水設備全面改修工事

■発電装置用燃料移送配管、既設パイプライン調査とルート測量

2000年4月

昭和基地向け、燃料移送用プレハブ二重管の開発に着手する。

2003年、「流体漏洩感知装置」として実用新案 第3096750号に登録。

2000年9月

品質保証部の発足と同時に同部担当課長となり、ISO9001:2000への認証移行に向け、品質マネジメントシステム再構築作業の実施責任者を務める。

2002年02月、認証移行が完了。

また、品質マネジメントシステム審査員資格(審査員補)を取得し、主任監査員として取引会社等への品質監査を担当する。

認証移行完了後は品質マネジメントシステムの管理責任者として、品質保証部／副部长、技術統括部／専任部長、広域サービス推進部／専任部長を歴任する。

2001年4月～
2005年12月

昭和基地 燃料移送配管 I 期～V 期について、漏液検知・位置検知システム付き柔構造プレハブ二重管の設計と品質検査を担当する。

2006年1月

[ヤンマーエンジニアリング株式会社](#) を「[選択定年制](#)」により退職。

2006年4月

[LIN エンジニアリング](#) を開業。

個人事業者として、プレハブ配管システム、機械設備 設計・監理 等の業務を提供。

<業務例> 官需・RI排水用柔構造プレハブ二重管／設計・監理

民需・燃料移送用プレハブ二重管／設計・監理

官需・機械設備配管／設計・積算

アルミ溶解プラント／設計支援

BDF精製プラント／設計支援・工事施工管理

公共施設 自家発電設備劣化診断／施工管理

官需・民需 自家発電設備／工事施工管理

官需・民需 給排水衛生空調設備／工事施工管理(現場代理人)

民間会社(工場)／労働安全衛生管理

南極地域観測隊・民間会社(機械器具修理)／危険予知トレーニング研修

民間会社(工場)／初等技術教育(「機械図面のみかた・読み方」)

2007年7月～
2008年3月

国立極地研究所 技術職員となり、第49次南極地域観測隊・夏隊に参加。

■漏液検知&位置検知／二重管システムによる燃料移送配管の最終調整作業、及び同パイプラインの本格運用開始

■管理棟 空調&給水・給湯配管全面改修工事／設計施工

■第1・第2夏期隊員宿舎 給排水管(保温材付きプレハブ加工管)敷設ルート調査

2010年3月

「F式太陽光ボイラ(F Solar Boiler)」の開発に着手。

2010年9月

同上 実用新案登録(第3163079号)。

2010年11月

同上 「第8回 光都ビジネスコンペ in 姫路」において奨励賞を受賞。

- | | |
|---------|---|
| 2010年9月 | 京都大学(熊取)原子炉実験所のRI(Radio Isotope)排水用
柔構造プレハブ二重管システム(50A・65A・80A)設計監理。 |
| 2014年6月 | 某自動車部品メーカーの製造工場向け燃料連携配管
柔構造プレハブ二重管システム(40A)設計監理。 |
| 2015年1月 | 民間会社(空調設備)／システムアプローチによる施工管理業務改善 |
| 2016年9月 | 民間会社(空調設備)／ISO9001:2015 新規格への移行支援 |